

森りょうじ リポート。(78号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

■“17万総活躍地域”に向けて

1億総活躍社会。政府が掲げたこのビジョンに対しては様々な意見もありますが、地方創生を目指す地域社会にも同じことが言えると思います。

人口が増減する地域、高齢化が進む地域、新築マンションが中心の地域…。市内それぞれの地域をどのように活性化させていくべきか。そのためのキーワードは“活動しやすい仕組みづくり”だと思います。市民の誰もが活躍する地域へ、私達の地域から実現しましょう！

■まず、最初の一步(障がい者施策の充実)

総活躍社会に向けては、様々な立場の方が、それぞれお持ちの技術や能力を発揮できる環境づくりが必要です。そこで今議会の質問では障がい者・女性・中小零細事業者の皆様が活躍するために必要な“後押しとなる施策の充実強化策”を求めました。

質問の結果、まずは障がい者の方々が職場に向かう際に必要な通勤助成額(現在 5,000 円を上限に補助)の拡充が図られることになりそうです。17万総活躍地域の実現に向けて、最初の一步にしたいと思います！

■案内①: 次回の駅活動は4月になります。

2～3月中の活動はホームページ・SNS をご覧ください！

■案内②: 平成28年第1回定例会ご案内

2/18-3/22の予定(議案内示日は2/8)です。平成28年度予算では新川スポーツフィールドの移転、おたかの森駅前市有地活用事業などに議論が集中しそうです。

○1976年6月12日流山生まれ(39歳)

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社(管理部ほか)

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選(4,508票)

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選(5,830票)

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

○後援会事務所:流山市中野久木559-2

討議資料

森りょうじ

森が動く。



流山市議会議員

討議資料

清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。「一年の計は元旦にあり」と言われるように、新春は様々な思いに駆られます。ついつい大風呂敷を広げそうになりますが、やはり地に足をついた目標設定こそ大切な気がします。焦らず、気負わず、頑張る年にしたいと思います！

一般質問①

【強い地域経済を、取り戻す。】

今議会では市内の部署を改正するための条例が上程されました。その内容は産業振興部から『経済振興部』に名称を変更、また分掌事務の整備を行う内容などでした。(賛成多数で可決)

経済政策に関しては、地方は国の政策に頼る面が強いものですが、地域の実情を見れば明らかのように、その対応(特にバラマキ型)は限界にきています。その為にも地域が主体となり、それぞれの地域に合った産業振興策を打ち出す姿勢が必要です。※以下、今回質問をした6点の内2点を掲載

★経済調査の結果を生かせ！

地方は国の法律に従い産業に関する様々な統計調査を行っています。ただしそれらの調査結果を生かした政策立案の事例は乏しいものです。

右図に見られるように調査結果からは様々な傾向が把握でき、対策を講じる必要性を感じます。また全国的な調査でありますので当市の産業の強みや弱みも把握できるため、それらを政策立案に生かすことも出来そうです。担当部長の答弁でも私と同じ認識を確認することが出来ました。

資料②: 強い地域経済を、取り戻す。

◎経済センサス活動調査(結果の活用)

国及び自治体の行政施策の立案や民間企業における計画の策定など社会経済の発展を支える資料に...

【国・自治体】

- ・中小企業の開廃業率の集計⇒地域格差の把握
- ・女性が経営に参画する企業の調査分析⇒支援施策立案
- ・業界・企業への産業振興策や助成政策などの策定
- ・工業用水の需給計画、下水道計画策定の基礎資料

【民間】

- ・地域毎の既存店舗状況⇒新規店舗の出店計画の資料に

参考: 経済センサスバンフレット

★千葉県と流山市の役割分担と連携強化を！

産業政策は国・県・市のそれぞれが打ち出しています。企業側の起点に立てば多様な選択肢があることは悪いことではありません。しかし、制度の重層化は大坂都構想の際に焦点となった“二重行政”による無駄の構造を生み出す可能性があります。また県の制度を利用した企業は籍を置く市に捉われずに、県全体

資料③: 強い地域経済を、取り戻す。

◎千葉県の産業振興策(平成27年度)

- ・中小企業振興資金...1,900億円【2年連続】
- ・立地企業補助金...5億円【2年連続】
- ・戦略的企業誘致の推進...1,804万円【増額】
- ・ちば起業家応援事業...1,200万円【新規】
- ・市町村による創業支援促進事業...1,000万円
※補助対象: 市・創業支援事業者 / 補助率1/2
- ・地域商業活性化事業...3,500万円【3年連続】

★[]内は対前年度比、事業継続年数など

参考: 千葉県の予算書(3年分)より

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

を見据えて移動してしまう可能性などがあり、地域間格差を更に生み出してしまう可能性も考えられます。このようなことから県と市町村との間で、連携・協力体制の構築化を求めたところ、市の見解は少し消極的なものでした。

一般質問②

【攻める、バス政策。】

★時代に合わせたバス政策の展開を！

現在 5 路線あるぐりーんバスは好評を頂いており、利用者は増加傾向です。一方で運行から10年が経ち、市内各地域を取り巻く環境も変わっています。そのため時代に合わせた柔軟なバス施策が必要

資料⑤: 攻める、バス政策。

◎固定客・新規客を掴む多様なサービス

- 【バス】
- ①東京都シルバーバス(70歳以上)
- ②横浜敬老特別乗車証・川崎高齢者フリーパス

【鉄道】

- ①普通回数券(9%程度の割引率)
- ②時差回数券(16%程度の割引率)
※月～金曜の10:00～16:00(鉄道毎に違い有)
- ③土・休日回数券(28%程度の割引率)

だと感じています。※今回は3つの視点で質問
① 高齢化社会に対応したバス施策の充実
②観光・ツーリズム推進のためのバス施策
③まちづくりに寄与するバス施策(運行時間の延長、空港直結シャトルバスの導入など)

①②の答弁は消極的な印象を受けました。③は一部努力をしている様子が見られました。

一般質問③

【温かい社会の実現へ。】

障がい者の方々が自立できる社会に向けて、国は法整備などを進めていますが、地域の現場では法の趣旨が具現化されていない点も多くあります。流山でも出来ることはもっとある！今回は市の計画に位置付けている就労継続支援 A 型施設の設置見直しなどについて確認しました。苦労している様子も感じられましたが、障がい者の皆さんが活躍できる地域社会に向け、更なる努力を要請しました。

資料⑧: すべての人が輝く、まちづくり。

◎障がい者就労に関する環境(主なもの)

- 【国】
- ・障害者総合支援法(H25.4)
- ・障害者雇用促進法(H28.4)
- 【流山市】
- ・障害者就労支援センター
- ・障害者職場実習奨励金事業
- ・障害者支援施設等通所交通費助成...
- 【就労継続支援A型施設の設立状況】
- 柏(5)、松戸(1)、我孫子(3)、鎌ヶ谷(2)、野田(1)習志野(1)、浦安(1)、船橋(8)、市川(2)



※2cmの折り紙で折鶴作り

【連絡先】 TEL & FAX: 7155-3236
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp